

## 令和元年度の利活用検討の取組

今年度は、これまでの調査検討・議論を踏まえ「丘珠空港の将来像（素案）」を提示して議論を行い、丘珠空港の利活用の在り方を示す「丘珠空港の将来像（案）」を取りまとめる予定である。今年度の主な取組内容は以下の3つである。

### <札幌丘珠空港利活用検討委員会>

- 札幌及び北海道のビジネスや観光、防災、医療等を支える役割を持つ丘珠空港について、更なる利活用を通じて札幌の活力の向上に活かすため、その将来像について検討を行う事を目的とした会議体。
- 地域住民・公募市民・学識経験者及び有識者の12名で構成し、年4回程度開催予定である。

### <オープンハウス型市民説明会>

- 丘珠空港の将来像の検討について、幅広い範囲の市民に説明し、意見を頂くことを目的とする。
- 市民が気軽に立ち寄り、行政スタッフと双方向の会話を通じて情報を得て自由に意見することが可能となるオープンハウス型の市民説明会。
- 幅広い範囲の市民を対象とする機会をつくるため、人通りの多いチカホなどで、平日だけでなく土曜日・日曜日にも実施予定。
- 開催日程（予定）及び開催イメージ

日程	開催時間	場所
令和元年 11 月 20 日 (水)	13:00～17:00	JR 札幌駅東コンコース
令和元年 11 月 21 日 (木)	15:00～19:00	
令和元年 11 月 22 日 (金)	13:00～17:00	
令和元年 12 月 14 日 (土)	13:00～17:00	札幌駅前通地下歩行空間（チカホ） 北1条イベントスペース
令和元年 12 月 15 日 (日)	13:00～17:00	
令和元年 12 月 16 日 (月)	15:00～19:00	



<裏面に続く>

### <市民ワークショップ>

- 丘珠空港の将来像の検討にあたり様々なアイデアや気づきについて、市民と行政と一緒に話し合うワークショップ。
- 地域住民枠と市民全体枠で募集した参加者がそれぞれ 5～6 人程度のグループに分かれ、「空港周辺地域や市民全体のための丘珠空港の役割」等について話し合う。
- 募集人数及び募集方法  
30 名程度（地域住民枠＋市民全体枠）を募集する。  
（地域住民枠）空港周辺住民を対象に回覧板（丘珠空港ニュース）及び本市ホームページにて募集を行う。申込み多数の場合は、抽選により参加者を決定する。  
（市民全体枠）札幌市内に住所登録がある 18 歳以上の方の中から無作為に抽出した 3,000 名に案内を送り、申込みのあった方から抽選により決定する。
- 開催日時：令和 2 年 1 月 19 日（日）13：00～17：00（予定）
- 開催場所：北海道立道民活動センタービル（かでる 2・7）7 階 710 会議室（予定）  
（札幌市中央区北 2 条西 7 丁目）